



〒975-0031
 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
 TEL(0244)26-1315
 FAX(0244)26-1318
 E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト
読書活動支援者育成事業相双地区研修会

- 日 時：令和5年7月28日（金）10：00～15：40
- 会 場：福島県環境創造センター環境放射線センター（南相馬市原町区萱浜巣掛場 45-169）
- 内 容：①「震災の記憶と教訓の継承」、②「ビブリオバトル実践報告～小学校・中学校・高等学校～」、
 ③「読み聞かせのスキルアップ！」
- 講 師：①相馬市伝承鎮魂祈念館 震災語り部 五十嵐 ひで子 氏
 ②南相馬市立八沢小学校 教諭 皆川 歩美 氏
 南相馬市立原町第一中学校 教諭 矢内 大貴 氏
 福島県立相馬農業高等学校 教諭 鈴木 千尋 氏
 南相馬市立原町第一中学校 学校司書 須藤 公美子 氏
 ③ J P I C 読書アドバイザー 児玉 ひろ美 氏



【研修のまとめ】

- ① 「震災を経験して」では、津波被害にあつたまでを時系列でお話しいただきました。語り伝えていくことが自分の役目、それをするために自分の命は助かった、自分の命は自分で守る等、辛い体験を明るい雰囲気でも話してくれました。
- ② 「ビブリオバトル実践報告」では、各校の取組を話していただきました。全校ビブリオに取り組んでいる八沢小学校、原町第一中学校の国語科の授業で行ったミニビブリオバトルの実践、選書の仕方やプレゼン内容についてのポイントを相馬農業高等学校の各教諭から話してもらいました。また、学校司書さんからは図書室に生徒をよぶ取組の一つとしての図書室ラジオをいつも学校で行っているように実践していただきました。
- ③ 「読み聞かせ～子どもに本を手渡すために～」では、心身の成長によりその本の紹介や絵本の選び方、紙芝居を読む際のポイント等の読み聞かせの技術だけでなく著作権の話なども伺え充実した内容でした。なかなか出来ない本の旧版と新版を比べてみての違いも一目瞭然と興味深いものでした。



【研修の感想】

- 読み聞かせの経験が浅く、選書等、頭を悩ませてきたが読書には流れがあり、成長に合わせて本を選ぶことの大切さを知ることができ、これからの読み聞かせをしっかりと考え、成長の中での読み聞かせを意識していこうと思う。震災のお話、自分の経験を重ねてお話を聞いた。震災を伝える本と依頼があったとき、その課程で自分がどのようにつながっていくか、とても考えさせられた。
- 中高のビブリオバトルの実践では、評価についても学ぶことができた。実施して終わりではなく、子ども達の変容にも目を向けていこうと思った。また、震災や読み聞かせの講話も、現場で還元していこうと思える内容であり、子ども達や先生方にも広めていきたい。

